

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月12日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して3%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月12日の基準価額	前営業日比
JA 資産設計ファンド（積極型）	13,906 円	▲447 円（▲3.11%）

#### ○市況動向

3月12日の株式市場は、当ファンドのベンチマーク※を構成するTOPIXが前営業日比▲4.13%、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）が前営業日比▲4.27%と大幅に下落しました。

※ベンチマークは、TOPIX：45%、NOMURA－BPI総合：15%、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）：25%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）：10%、短期資産：5%のウェイトで合成。

この背景としましては、

- ① 世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスについて「パンデミック（世界的な感染流行）の状況にある」と表明したことを受け、世界景気に対する不安が一層高まったとみられること
- ② トランプ米大統領が景気対策に関する記者会見に現れなかったため、景気対策の実現可能性が疑われ、投資家の失望を誘ったとみられること
- ③ トランプ米大統領が新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するべく、欧州から米国への渡航を30日間停止すると発表したことを受け、世界的な経済活動の更なる落ち込みが意識されたこと

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、主に当ファンドが組入れている4つのマザーファンドのうち、JA 日本株式マザーファンド（前営業日比▲4.47%）と JA 海外株式マザーファンド（前営業日比▲4.03%）が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引き続き、原則として基本配分比率に基づき各マザーファンドの組入れを行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以上

## J A 資産設計ファンド（積極型）

追加型投信／内外／資産複合

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認  
 いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■ 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主にわが国の株式、債券、日本を除く世界先進各国の株式および日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、国内、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、国内、海外株価の下落による組入れ株式の価格の下落、組入公社債や組入株式の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」や「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■ 当ファンドに係る手数料等について

◆ 申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆ 換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆ 信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.43%（税抜年1.30%）の率を乗じて得た額とします。

◆ 信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

解約申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%の率を乗じて得た額とします。

◆ 監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆ その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月12日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月12日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> J-REITインデックスファンド(年1回決算型)	9,946円	▲694円(▲6.52%)

#### ○市況動向

3月11日から12日にかけて、当ファンドのベンチマークである東証REIT指数(配当込み)は、▲6.52%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する東証REIT市場の下落によるものです。

##### ・東証REIT指数(配当込み)

3月11日3,989.44ポイントから12日3,729.21ポイントと▲6.52%の下落

この背景としましては、

- ① WHO(世界保健機関)が新型コロナウイルスに関してパンデミック(世界的な大流行)となったと宣言したことにより、景気減速への懸念が一段と高まったこと
- ② 原油価格が大幅反落となったことや米政権による景気対策の詳細発表が米国市場終了時までになされなかったことなどを受け、米国株式市場が大幅に下落したこと。その後、米政権より欧州から米国への渡航制限措置について発表されたことなどから世界経済への影響が懸念されたこと
- ③ 上記の動きのなか、東証REIT市場全体にリスクオフの動きが広がり、大幅な下落となったこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、東証REIT市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金＜パートナーズ＞ J-REITインデックスファンド（年1回決算型）

追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的にJリートなど値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、投資者（受益者）の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」です。「価格変動リスク」にかかる指標は、東証REIT指数（配当込み）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.10%（税抜1.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.44%（税抜年0.40%）の率を乗じて得た額。

ファンドが実質的な投資対象とする不動産投資信託証券（Jリート）は市場の需給により価格形成されるため、不動産投資信託証券の費用は表示していません。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

解約申込受付日の基準価額に0.10%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月12日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月12日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> J-REITインデックスファンド（毎月分配型）	17,984円	▲1,252円 (▲6.51%)

#### ○市況動向

3月11日から12日にかけて、当ファンドのベンチマークである東証REIT指数（配当込み）は、▲6.52%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する東証REIT市場の下落によるものです。

##### ・東証REIT指数（配当込み）

3月11日 3,989.44ポイントから12日 3,729.21ポイントと▲6.52%の下落

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったことにより、景気減速への懸念が一段と高まったこと
- ② 原油価格が大幅反落となったことや米政権による景気対策の詳細発表が米国市場終了時までになされなかったことなどを受け、米国株式市場が大幅に下落したこと。その後、米政権より欧州から米国への渡航制限措置について発表されたことなどから世界経済への影響が懸念されたこと
- ③ 上記の動きのなか、東証REIT市場全体にリスクオフの動きが広がり、大幅な下落となったこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、東証REIT市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金<パートナーズ> J-REITインデックスファンド（毎月分配型）

追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、Jリートなど値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資者（受益者）の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」です。「価格変動リスク」にかかる指標は、東証REIT指数（配当込み）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。  
お申込日の基準価額に1.10%（税抜1.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。  
※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.44%（税抜年0.40%）の率を乗じて得た額。  
ファンドが投資対象とする不動産投資信託証券（Jリート）は市場の需給により価格形成されるため、不動産投資信託証券の費用は表示しておりません。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。  
解約申込受付日の基準価額に0.10%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

#### ◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月12日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月12日の基準価額	前営業日比
農林中金〈パートナーズ〉 つみたてNISA米国株式S&P500	9,692円	▲516円 (▲5.05%)

#### ○市況動向

3月11日から12日にかけて、当ファンドのベンチマークであるS&P500指数（当社円換算ベース）は、▲5.14%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する海外株式市場の下落と、外国為替市場における円高・ドル安によるものです。

・S&P500指数（配当無、ドル建て）

3月10日 2,882.23ポイントから11日 2,741.38ポイントと▲4.89%の下落

・東京時間のドル／円 対顧客相場※

3月11日 104.88円から12日 104.60円と▲0.27%の下落

（※対顧客直物電信売買相場）

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言したことにより、景気減速への懸念が一段と高まったこと
- ② 上記環境のなか、原油価格が大幅反落となったことや米政権による景気対策の詳細発表が米国市場終了時までになされなかったことなどを受け、米国株式市場が大幅に下落したこと
- ③ 世界的な株価下落のなか、リスク回避通貨としての円高・ドル安の動きが引き続き根強いこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、ファンドのベンチマークを構成する海外株式市場の下落と、外国為替市場における円高・ドル安に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金<パートナーズ>つみたてNISA米国株式S&P500

追加型投信/海外/株式/インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券を投資対象としますので、米国株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、S&P500指数（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものではありません。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.495%（税抜年0.45%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、2020年3月12日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して3%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月12日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> 日米6資産分散ファンド(資産形成)	10,234円	▲404円(▲3.80%)

#### ○市況動向

3月12日の基準価額に反映される国内株式市場、国内REIT市場、米国株式市場および米国REIT市場は、大幅安となりました。下落の要因としては、以下のような点が挙げられます。

- ① 世界保健機関(WHO)が新型コロナウイルスについて「パンデミック(世界的な感染流行)の状況にある」と表明したことを受け、世界景気に対する不安が一層高まったとみられること
- ② トランプ米大統領が景気対策に関する記者会見に現れなかったため、景気対策の実現可能性が疑われ、投資家の失望を誘ったとみられること
- ③ トランプ米大統領が新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するべく、欧州から米国への渡航を30日間停止すると発表したことを受け、世界的な経済活動の更なる落ち込みが意識されたこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、主に当ファンドが組入れている6つのマザーファンドのうち、S&P米国REITインデックス・マザーファンド(前営業日比▲6.82%)、東証REITインデックス・マザーファンド(前営業日比▲6.51%)、S&P500インデックス・マザーファンド(前営業日比▲5.05%)、日経225インデックス・マザーファンド(前営業日比▲4.45%)が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引き続き、原則として各マザーファンド受益証券への基本配分比率に基づき各マザーファンドの組入れを行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以上

## 農林中金<パートナーズ>日米6資産分散ファンド(資産形成コース)

追加型投信/内外/資産複合

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認  
 いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主として日本株式、日本債券、日本上場不動産投資信託（J-REIT）、米国株式、米国債券および米国上場不動産投資信託（REIT）に実質的に分散投資を行いますので、国内、米国金利の上昇による組入債券の価格の下落や、国内、米国株価の下落による組入れ株式の価格の下落、組入債券や組入株式の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありませんので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「REIT（リート）の価格変動リスク」、「金利変動リスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.10%（税抜1.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.935%（税抜年0.85%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月12日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月12日の基準価額	前営業日比
農林中金〈パートナーズ〉 米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド	9,274 円	▲494 円 (▲5.06%)

#### ○市況動向

3月11日から12日にかけて、当ファンドのベンチマークであるS & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）は、▲5.14%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する海外株式市場の下落と、外国為替市場における円高・ドル安によるものです。

・S & P 5 0 0 指数（配当無、ドル建て）

3月10日 2,882.23 ポイントから 11日 2,741.38 ポイントと▲4.89%の下落

・東京時間のドル／円 対顧客相場※

3月11日 104.88 円から 12日 104.60 円と▲0.27%の下落

（※対顧客直物電信売買相場）

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言したことにより、景気減速への懸念が一段と高まったこと
- ② 上記環境のなか、原油価格が大幅反落となったことや米政権による景気対策の詳細発表が米国市場終了時までになされなかったことなどを受け、米国株式市場が大幅に下落したこと
- ③ 世界的な株価下落のなか、リスク回避通貨としての円高・ドル安の動きが引き続き根強いこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、ファンドのベンチマークを構成する海外株式市場の下落と、外国為替市場における円高・ドル安に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金〈パートナーズ〉米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認  
 いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に米国の株式等に実質的な投資を行うので、米国株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、S&P500指数（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜年0.55%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員